

西楽寺 新住職お披露目



巡行先の教専
寺門をでる稚
児さんたち

幟を先頭で長い行列が続いた



新旧の住職継職法要の席上にて
左: 簗 佳貴住職 右: 簗 宣之前住



西楽寺 第20世住職
簗 佳貴 氏

★令和7年4月27日(日) 西楽寺草津町にある浄土真宗本願寺派 宗高山 西楽寺において、第19世住職退任・第20世住職継職の奉仕法要が執り行われた。★新任住職になった簗 佳貴氏(45歳)は、令和3年4月に住職を継職されたが、コロナ禍のため、やむなく法要を延期されていた。★この度、親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年を期に、前の住職の簗 宣之(たけむら)さん(じ)さんからの住職継職の奉仕(お披露目)法要を行った。★当日は快晴で素晴らしい衣装をまきたお稚児さんたち、多くの信者による行列が草津町を巡った。



アマリリス

★アマリリス：南米原産/ヒガンバナ科植物 花言葉「輝くほどの美しさ」★令和の米騒動。店頭米価が倍になり、失言農相がボエム農相に交代。古古米を入札から随意契約で複雑な流通中間マージンを飛ばし、価格を2千円で販売の備蓄米フィーバーが発生。果たしてその味は如何に？参院選を前に解散風が吹こうとしている。★キラキラネーム、マイカード混乱防止などで戸籍に読み仮名を付ける改正戸籍法施行。

★露と米のトップ電話会話は進展なし。トランプさんもサジを投げかけている中、ドローンを使った戦況が拡大。★横綱に最短になった大の里は、ベビーフェースといひ、日本人離れた体格からして、相撲界の「大の谷」ではないかと…。その大谷6月に入り、MBLトップのHR23号を叩き出す。

★昨年の悪夢の再現か 5月下旬戦は相変わらず投打がかみ合わない。上位に比してHRが少ない。このままだと交流戦が思いやられる。頑張れカープ！★今年の予報は、冬の寒さから一気に真夏の暑さになる「二季化熱中症」が流行するという。おのおの方互いに気を付けられい。★本誌が先月で創刊500号になった。いつまで続くか、頑張ります。ご声援のほどを。(写真:東三丁目にて)

歌は心のビタミンだ！一緒に歌いましょう！

▼草津東女性会改め「さわやか倶楽部」主催のサロン・3回目の「一緒に歌いましょう」が、5月21日(水)午後、草津東集会所で行われた。いつもながらの町内会長の長話の後、男性も含め43名歌声がホール一杯に響いた。途中のティータイムも楽しいおしゃべりも盛り上がった。



知っている歌を大きな声で唄い、久しぶりにストレス解消

▼「四季の歌」にはじまり、みんなが「若さ、頃に口ずさんだ童謡や唱歌が中心だったが、今回は演歌や歌謡曲もやってほしいとの注文があった。▼「皆さんと集まって声を出して唄うとストレス発散になります」と参加者の声。

防災備蓄倉庫点検

▲5月23日(金) 指定避難場所である草津小学校体育館の北側にある広島市防災備蓄倉庫の点検と体育館内にある防災無線機の点検が西区役所職員によって実施された。毎年この時期、災害に備えての点検である。▲災害はいつ何時起きるかも知れません。皆さんのご家庭でも防災グッズなどのチェックをお忘れなく。



備蓄倉庫備品の確認



防災連絡無線のチェック



草津学区・草津Aチーム ディスクドッチで優勝！

僕たち草津Aチームは5月25日(日)の西区民スポーツ大会のディスクドッチ競技で優勝しました。僕を外野として攻撃の中心を任せてくれた監督やコーチのきたに伝えようと懸命にプレーしました。秋はもっと活躍して連覇に貢献したいです。

草津東三丁目 6年 藤永広武



井口中学校で11チームが競った。赤O内 藤永広武君



記念の手形を



ご家族と一緒に記念写真



住職からお念珠を頂く

★「初参式(しよさんしき)」が西楽寺 教専寺で5月19日(日)執り行われた。教専寺では男女2名のお子さんが、稚児衣装を着て可愛い小さな手を合わせて、故選住職からお念珠を頂いた。★「初参式」は三才になるお子さんが、仏様に初めてお参りする儀式です。

おことわり ●5月29日(木)・庚午中学校の体育祭と5月31日(土)・草津小学校の運動会の記事は本誌紙面の都合により、来月号に掲載します。ご了承ください。



庚午中学校体育祭



草津小学校運動会

6月行事予定

- ◎6日(金)町常任委員会 19時30分
- ◎7日(土)鷲森神社例大祭(弁天さん) 東三丁目 子ども会行事14時～ 神事16時～
- ◎19日(木)おれんじカフェひまわり 10時
- ◎22日(日)車椅子町点検 (雨天実施)
- ◎6月28日～7月1日(土～火) 9時～17時 草津八幡宮 夏越し大祓い・茅の輪くぐり 有価資源収集日: 11(水)・25(水)

草津八幡宮

なごしおはらい ちわ 夏越大祓・茅の輪くぐり
6月28日(土)～7月1日(火)
9時～17時まで
お休み処「はちまん茶屋」
出店: 6月28～30日の3日間

町点検をしましょう！

『安全で住みやすい街のために』どなたでも参加ができます。お住いの丁目ごとに点検。歩きやすい服装で。飲み物はお配りします。
・日時: 6月22日(日) 9時30分～約1時間
・集合場所: 草津東集会所 雨天でも実施

この人を訪ねて#243

ジャン 一筋に30年 そして今は...

元S級1班競輪選手(62期)

小林 豊(こばやし ゆたか)さん60歳

地球(4万km)を8周し、生涯獲得賞金約五億円余。53才の時競輪選手歴30年を期に引退。「ポツンと一軒家」といつくべき古民家を「水源ファーム」と名付け、ゲストハウス用に改装中。(※ ジャン 競輪用語 最終周回に鳴る打鐘音)

「ポツンと一軒家」へ向かう

小林 豊さんが運転する自動車は、広島市・草津から佐伯区八幡川沿いを一路北上し、国道191号線にある安芸大田町戸内河内を目指す。時間にしておよそ1時間30分余約60km、目指すは小林さんが管理する「軒の古い元農家屋、戸内河内町から山際の道を上り切ったところに、TVポツンと一軒家」に出る様な家屋と畑があるところだ。ここは、小林さんの母親の里であり、現役時代練習のために日夜レース仕様の自転車、広島市内から往復120km走破していたところだ。

二度目のインタビュー

実は小林さんは、本誌2003年(平成15年)一月、「この人を訪ねて#7」に登場してもらっている。当時37才の小林さんは、西区草津東一丁目に住んでいて、30しかないS級1班の現役で油の乗ったハリハリの競輪選手だった。そのとき聞いた話と引退後の話を綴り交えて記してみる。

第一の夢...ガムの包み紙が人生を変えた

1965年昭和40年西区草津東一丁目生まれ小林さんは、5歳の時、ガムの小さな包み紙に書かれたクイズの回答に「日本が一番選手が多いプロスポーツは競輪選手」とあるのを見て、「自分でもなれるのでは...」と思い、将来の自分の夢として温めてきた。中3の時、父親を病で亡くし、母親と姉とともに育った小さい頃から足が速かった。広島大付属高校時代「広島市陸上競技選手権大会」陸上400m種目で2位の実績。高校卒業後、東京で2年間サラリーマンをするも、夢が捨てきれず帰郷。狭き門の競輪学校に挑むも一次の適正試験には通るが、二次で4回も失敗。23才までの年齢制限があり、小林さんは焦った。

広島県立球場で練習中、42期の先輩競輪選手に運命的に出会い、「死に物狂いの精神を受け、2次の技能試験に合格しました」とあと少しで23才になることだった。まさに捨てた神あれば、助ける神ありだ。

第二の夢に向かい...神棚に手を合わせ

1年間の競輪学校を卒業した新人選手は、最下位の

A級3班からスタート。半年このレース成績で点数評価され、容赦なくランクが上下し、収入も変化する。毎年120人がこの業界から去っていく。実力主義の世界だ。小林さんは2年後の25才のときA級1班になるが、このままではA級のままで終わってしまう。こりゃいけん、今年中にS級に上がらねば」と29才の正月、第一の夢叶えようと神棚の前で誓った。

第二の夢...念願のS級に昇格

「レースのない日の朝4時起床、西区三滝・竜王公園の1.5kmの上り坂を腰を上げたまま「もぐもぐ」。びっ倒れ30分は動けない。山頂に向けさらに1kmもぐもぐ足がちぎれ、心臓が飛び出しそうになり地べたにへたり込む。「明日からもつめた」と一瞬弱気が頭をよぎる。犬を連れた散歩の人が見かねて、「大丈夫ですか？救急車を呼びましょうか」と声をかける(笑)。技能試験を受けるとき以上にほんとに死に物狂いで体を鍛えましたね。ちなみにA級とS級とは、実力や賞金の差は小学生と大学生の違いがあると小林さんは話す。一年後、ついに第一の夢・念願のS級3班へ。3年後33才のとき念願の最高ランクのS級1班(選手の3%・130人)に昇格した。

競輪(けいりん)英語表記「KEIRIN」とは

▼競輪 競馬・オートレースと並ぶ公営競技の一つ。自転車競走の勝敗を予想し、車券を買い楽しむ公営ギャンブルである。▼戦後の復興期、1948年(昭和23年)11月九州の小倉で始まり、日本生まれの自転車競走。2000年開催のシドニーオリンピックから正式種目となり、国際的なサイクルスポーツである。▼一般的レースは周400mのバンクを5周(2000m)を9選手が争う。▼一時は3400人以上の選手が年一回になるレース場の閉鎖、開催日の減少、選手募集が年一回になる等、最近では約300人前後内を150人になるも日本のプロスポーツでは最大規模の人数。選手生命が他のスポーツに比べ長く、19、60才まで非常に広い年齢層が活躍できるので大人数となる。▼新陳代謝があり、成績如何によっては入れ替わる強制的な登録抹消制



小林 豊 (こばやし ゆたか)

広島市中区吉島新町在住 広島市西区草津東生まれ 草小・庚午中・広島工大付鳳高校'83年卒。'87年(62期)日本競輪学校、'88年競輪選手登録。'98年S級1班昇格。'18年2月現役引退53才。'24年1月競輪業界を離れる。 家族:妻、子息一人



改修中の古民家の前で下をいたずら好きな小林さん、ゴジラのぬいぐるみでゲストを驚かす(笑)



二番手をかわし、一着ゴール！赤ユニフォームが小林選手白丸



バンクを疾走する小林選手の勇姿。風圧を避け、二番手から一気に70kmで「まぐり」が得意わざ



S級に昇格後、しばらくをとい結婚、子息をもうけた



脚力を維持する



記録ノート



古民家に置くトロフィーに囲まれて

度がある厳しい世界である。▼自転車競技法により、経済産業省が管轄し、地方自治体が運営。広島市をはじめ現在43ヶ所の公営競輪施設で行われている。▼広島競輪場は、老朽化により2023年1月から解体工事中で、2025年11月「アーバンサイクルパーク」ス広島としてリニューアルする。(ウィキペディア他参照)「ジャンが鳴る」一気にダッシュ！小林選手の競走スタイル・決まり手は、追い込み型。費用用語で「まぐり型」「マーク型」と呼ばれ、他選

手から一目置かれていた。「僕は体が大きくないし、体重も軽い。先頭を走る持久力があるほうでもない。先行選手の2番手、3番手につけ、風圧を減らし、ジャンが鳴る最終コーナーあたりから、一気にダッシュ(時速約70km)で一着を狙う戦術です」「これは危ない走法、転倒落車し、鎖骨、肋骨など何度も折りました。時には失格になることも多々ありましたが、これが僕の戦法なのです(笑)。ちなみに往年の10場所の成績勝率は16.6%、3位以内入賞率40%、これ一本命選手だった。出場は月2回、年間24回で70、80日、引退まで出走したのは2308回。一着が272回、うち優勝は26回。広島を中心に全国のレース場を転戦した。生涯獲得賞金約5億円。練習時はもとより、出場レースについて、克明に欠かさず自戒を込めた反省材料などを含めた記録をとっており、大学ノート一冊455年で計30年分、7冊にもなる。

第三の夢...の実現へ

現役選手を2018年平成30年引退した小林さんは4年半OBとして、広島競輪場で裏方を務め、昨年1月競輪業界を卒業した。

母親の里で江戸後期に建てられた前述の元農家屋を改築して、現役時代から温めていた第二の夢の実現に取り掛かっている。裏山には湧き出る「水」があり、6反の農地がある。小林さんの名刺には「水源ファームゆたか」・古民家カフェ、蕎麦屋、民宿、無農薬農業、保険指導と書かれている。「このおいしい水を飲んでいた親戚には一人もカバンになった者がおりません。まだ水質検査はしていませんが...」この効能を力説する。

目標実現のためには

人手がないこともあり、すぐに「商売」するつもりはないそうだ。しばらくは知人を招いて宿泊ができるゲストハウスとして利用する。「農業人口が減る中、若い人に田畑を提供するので、無農薬農業にもチャレンジしてみたいですね。」

現役時代、出身の高校、中学校で後輩たちに講演したことがあった。「100になりたいと夢を持つことは大切だが、それだけではいつか忘れてしまう。目標に対して強い意志とそれのための工夫した努力をしないと良い結果には結びつかない。そのためには自分をおぼれさす楽しみなどは捨てることも大切」と。S級になったために小林さんは血の出るような努力、結婚も考えず、好きなパチンコ(パチプロ級の腕前)をも封鎖していた。

健康について人一倍関心を持つ小林さんは、いま勉強中。いすね得た知識を本にしたいなど、これからの余生を過(よこ)ごとの夢を語ってもらった。